

野球

東長浜北星 3 9 彦根東

武田君、渾身の満塁本塁打

大会第7号、東高で34年ぶり



2回戦

▲大会第7号となる本塁打を放つ武田君

第95回全国高等学校野球選手権記念滋賀大会が開幕した。本校は春季大会でベスト4という成績を収めたため、本大会でのシード権を獲得した。7月21日、皇子山球場で2回戦が行われ本校野球部が3-9で長浜北星高校に勝利した。それにより本校野球部は県立彦根球場で行われる北大津高校との3回戦に出場する。

▼ハイタッチを交わすバッテリーの平尾拓也君(3-7)と武田君



2回裏、田中良君(3-3)がライトの頭上を越える三塁打を放ち、7番の武田圭太君(3-6)がしつかりスクイズを決め、先制点を奪った。5回裏、3連続フォアボールで満塁のチャンス。武田君が満塁本塁打を放ち、点差は大きく開いた。滋賀県夏季大会95年の歴史上、この本塁打は通算19本目の満塁本塁打で、本校野球部史上では2本目。1本目は第61回大会の青山吉伸選手(現米原高校教頭先生)で、それ以来34年ぶりである。試合は7回表、本校野球部の守備が乱れてしまい、一挙に2点差に詰められてしまった。しかし7回裏、ヒットを重ね再び満塁のチャンスになった。川端将広君(3-8)の犠牲フライで1点、鈴木修也君(3-7)の二塁打で1点、

2回裏、田中良君(3-3)がライトの頭上を越える三塁打を放ち、7番の武田圭太君(3-6)がしつかりスクイズを決め、先制点を奪った。5回裏、3連続フォアボールで満塁のチャンス。武田君が満塁本塁打を放ち、点差は大きく開いた。

速報新聞
キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

3回戦

VS 北大津高校

7月24日 午前10時から
県立彦根球場

監督の村中隆之先生は次の北大津戦について「公式戦では勝ったことがない相手なので勝利に集中したい」と話された。

相手チームのエラーで1点、大沢視人君(3-3)の犠牲フライで1点でこの回4点を獲得し、6点差となった。そのまま9回を終えて本校は見事長浜北星高校に勝利した。今回活躍の武田君は本塁打について「仲間やスタンドで応援している皆のおかげの本塁打だと思っただと話した。」

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
長浜北星	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
彦根東	0	1	0	0	4	0	4	0	0	9